

2020年6月16日

会社名 国際石油開発帝石株式会社  
代表者名 代表取締役社長 上田 隆之  
(コード番号 1605 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏  
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト  
プロジェクトファイナンス契約の一部借り換えおよび借入れ条件の変更について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリア連邦において操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーと共にイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）の安全かつ安定的な操業につとめておりますが、今般、本プロジェクトのために2012年に国内外の輸出信用機関（Export Credit Agency、以下、ECA）および市中銀行との間で組成したプロジェクトファイナンス契約のうち、融資金額の一部において、借り換えおよび借入れ条件の変更（以下、本リファイナンス）を行いましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトでは、2019年12月に財務的完工を達成し、その後も順調に安定操業を続けていることを踏まえて、借入れ条件の改善を目的に本年3月に本リファイナンスの正式募集を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大等に伴う原油価格下落の影響を受けながらも、本プロジェクトの順調な進捗に対する適切な評価を受け、金融機関より募集金額を上回るコミットメントを取得し、クロージングに至りました。

プロジェクトファイナンスの合計額約156億米ドル（※）の内、本リファイナンスの対象となる金額は約83億米ドル（※）です。また、リファイナンスに参加する金融機関はECA7行、市中銀行28行となります。

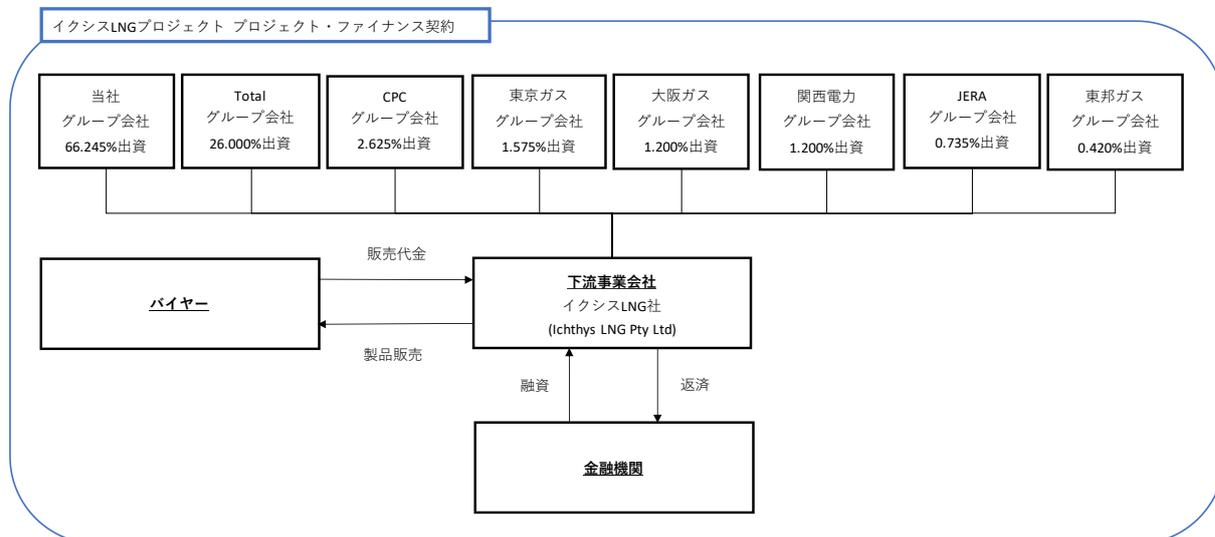
※借入人である下流事業会社イクシスLNG社100%ベースの2020年6月残高

本リファイナンスにより、イクシスLNG社における金融費用が軽減され、プロジェクト価値の向上が期待されます。また本リファイナンスは、油価下落に対する基本対応方針として掲げたコスト削減の取り組みの一環であり、当社グループの強固な企業体質の構築にも寄与することが期待されます。

当社は引き続き、プロジェクトパートナー、地域コミュニティの方々、オーストラリア連邦政府、北部準州政府及び西豪州政府などのオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者等のご理解とご協力を得ながら、安定操業を行ってまいります。また、生産されたLNGのうち約7割が日本買主に供給される予定となっており、本プロジェクトを通じて、日本のエネルギー安定供給により一層貢献するとともに、アジアをはじめとする世界のエネルギー需要にも応えていく所存です。

なお、本件による当社連結業績への影響は軽微であります。

### イクシスLNGプロジェクト プロジェクトファイナンス全体図



以上

特設サイト - イクシスLNGプロジェクト

イクシスLNGプロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：

<https://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>